

沖縄・球美の里

◆保養対象者◆

保養対象者は、福島県および高濃度汚染の近隣県に在住の小中学生と未就学児です。時期によって「学童保養（小中学生）の回」と「母子保養（未就学児・小学1-2年生&母親）の回」があります。

◆保養内容◆

年間15回程、保養を行っています。1回の保養は8～14日、保養者は30～50名前後です。

◆保養実績◆

2012年7月の第1回から2019年1月の第100回までに、延べ3449名の子どもたちの保養を実施しました（同伴の保護者は834名です）。

◆保養者募集◆

ホームページやブログ、ちらしや口コミを通じて保養希望者を募集しています。事前説明会の後、正式に応募していただき、応募者が多い場合は、参加回数や居住地域などの状況を見て、ご参加いただく方を決めています。

◆保養参加費用◆

子どもの交通費・滞在費・食費などは無料、保護者の交通費は自己負担です（一部、保険代やプログラム費などの自己負担があります）。

◆久米島までの交通◆

福島（郡山といわき）から貸し切りバスで羽田空港に行き、羽田空港から那覇空港経由で久米島空港まで飛びます。久米島空港から沖縄・球美の里までは専用バスです。帰路は逆コースです。

◆認定NPO法人◆

沖縄・球美の里は2012年10月にNPO法人となり、2015年7月には「運営組織・事業活動が適正で公益の増進に寄与する団体」として、認定NPO法人の認定を受けました（寄付欄ご参照）。

◆寄付のお願い◆

認定NPO法人 沖縄・球美の里の活動・運営は、すべてご寄付で成り立っています。周囲のみなさまに募金のお願いを広めてください。振り込み用紙付きのチラシも用意しています。必要な方は東京本部までご連絡ください。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】 00160-6-634014

【口座名称】 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里

☆沖縄・球美の里へのご寄付は、税控除の対象となります。詳細は東京本部までお問い合わせください。

◆ボランティア募集◆

沖縄・球美の里の活動をお手伝いいただけるボランティアを募集しています。

☆詳細はホームページをご覧ください。

認定NPO法人 沖縄・球美の里

ホームページ www.kuminosato.com

■東京本部（広報・寄付担当）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-19-7
タックイレブン高田馬場 702 号室
TEL: 03-6205-6139 FAX: 03-6205-6140
MAIL: tokyo@kuminosato.net

■久米島事務局（保養実施・施設管理担当）

〒901-3111 沖縄県島尻郡久米島町字山城 799 番地
TEL: 080-5008-0233 TEL/FAX: 098-985-8880
MAIL: kumejimajimukyoku@gmail.com

■たらちね・こども保養相談所（保養者募集・旅行手配担当）

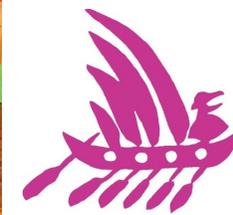
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑 11-3
認定NPO法人 いわき放射能市民測定室 気付
TEL: 0246-38-7173 FAX: 0246-38-8322
MAIL: tarachine.hoyou@gmail.com

認定NPO法人 沖縄・球美の里 パンフレット（2019年2月発行）



福島の子どもの保養プロジェクト in 久米島

沖縄・球美の里



●球美の里のマーク：自然の力を受けて、みんなで力を合わせて櫂（こ）をこいで進むという意味が込められています（デザイン：宮崎駿）。

認定NPO法人 沖縄・球美の里



沖縄・球美の里

「沖縄・球美の里」は、沖縄県の久米島にある、国内で唯一、通年で利用できる福島の子どものための保養施設です。

2011年3月11日の東日本大震災により福島第一原発事故が発生しました。年月が経った今も、避難生活を余儀なくされている人々は多く、また、放射能汚染地域——場所によっては、チェルノブイリでは居住が禁止されている区域と同じレベルの放射線量がある地域——に住み続けている人も大勢います。そこに住む子どもたちは、「あそこに行ってはいけない」「あれに触ってはいけない」「これは食べてはいけない」など多くの制約を受けながら、毎日暮らしています。

汚染された土地に住んでいる子どもや、事故当時被曝した子どもは、汚染されていない土地で、一定期間保養することによって、病気になりにくい身体をつくるのが可能です。チェルノブイリ原発事故の被害を受けた子どものための保養施設『希望』（ベラルーシ）の統計によると、保養した子どもの体内放射性物質は25～30パーセント減少し、9割以上の子どもに、明らかな健康回復が見られます。

福島の子どもたちに、自然の美しい久米島で、思いっきり遊んで、食べて、自然に触れて、楽しく過ごして、心身の健康を維持してもらいたい、免疫力や抵抗力をつけてもらいたい——、それが沖縄・球美の里が取り組む「保養」です。



▲久米島は沖縄本島から飛行機で約30分。

●沖縄・球美の里は、久米島空港から車で約20分、山城（やまぐすく）という地域の山間（やまあい）にあります。宿泊や食事などをする本館を中心に、新館、ドイツ製の木のおもちゃのある室内遊びスペース「ピラミッド」、図書館、海が見えるカフェ、走り回れる芝生エリア、大型遊具、岩山、泥染め池など、子どもたちが喜ぶ施設がたくさんあります。

●球美の里には、多くの地元の方々——子ども中心の民謡グループ「なんくるさんしん」、手話サークル「くめしゅわ」、琉球古武道の先生、地元の老人会の方々など——が訪ねてくださり、子どもたちに楽しい時間をプレゼントして下さいます。

●施設を一步出れば、久米島の大自然が待っています。美しい海、自然の生き物に触れられる久米島ホテル館、ウミガメ館、豊石海岸、そして、楽天ゴールデンイーグルスのキャンプ場・ホテルドームや海洋深層水の温浴施設・バーデハウス久米島などが、子どもたちの心を大きく開放してくれます。

●施設の隣の陶芸工房「やちむん土炎房」でのシーサーづくりや、希望が丘キリスト教会の芝生での外遊びも、子どもたちに人気のプログラムです。

●保養中に、医師による甲状腺検診も行っています。健康面で心配なことを医師にゆっくり聞けるため、母親に喜ばれています。また、NPO法人タッチインピースのセラピストによるタッチケア（オイルマッサージ）も「癒される」と好評です（毎回ではありません）。※いずれも希望者のみ。

久米島空港

沖縄・球美の里

